



株式会社 魚耕

魚耕直伝

活タレシピ

いかとおくらの梅しそ和え

刺身を簡単アレンジで目にも涼しい夏の小鉢



材 料 (4人分)

するめいか	1杯	みょうが	1個
(胴の長さ23~25cm)		みりん	大さじ1と1/3 (煮切ったもの)
おくら	8本	薄口しょうゆ	小さじ2
梅干し	4~6個 (梅肉で約30g)	砂糖	ひとつまみ
大葉	10枚	水	大さじ1

作り方

1

するめいかは下ごしらえをして皮をむいた胴だけにし、食べやすい長さの8mm幅に切る。



2

おくらはさっと茹でて斜め薄切りにする。
大葉とみょうがは粗みじん切りにする。



3

梅干しは種を除いて果肉を包丁で叩き、<A>と大葉とみょうがを混ぜる。



4

3の和え衣に、いかとおくらを加え和える。



ワンポイントアドバイス

- 梅干しは使う種類によって酸味が違うので、<A>の調味料の量は味見しながら微調整して下さい。
- <A>は市販の麺つゆで代用してもOKです。
- ほどよい酸味でごはんはもちろん、やや甘口の日本酒や芋焼酎の肴にもピッタリ。
- えんべらも柔らかく食べやすそうなら使って下さい♪げそは下ごしらえ後、冷凍保存しておけます。
- いかの下処理が面倒な方は、刺身で代用してもOKです。
- みりんの煮切りはレンジで20秒位加熱すれば手軽にできます。

栄養価

梅干しの酸味は、高温多湿のこの時期、夏バテ予防や疲労回復に大変効果的です。さらに、高たんぱく低脂肪のいかと合わせることで、体に負担をかけずスタミナUPができます。



プリントしたものはファイルなどに閉じていただくと料理ブックができますよ。